

コナミのデジQトレインは、「鉄道」をテーマに、玩具として楽しめるキュートなデザイン、そして模型としてシミュレーションできるシステムを兼ね備えた、まったく新しいジャンルのホビーアイテムだ。レールシステムも多彩に揃い、「ジオラマ」や「レイアウト」など情景モデルとしての楽しみも可能になった。



## 複線レールですれ違いを楽しむ!!

### ■無線運転で楽しむ、新しい鉄道ホビー

デジQトレインは無線による遠隔操作で運転が楽しめる高性能マイクロトレインだ。手元のコントローラーを操作すると、その指令は赤外線デジタル無線によるデータ通信で線路上の車両に送られ、前進と後進の切り替えはもちろん、スピード調整、停止など、リアルタイムでさまざまなアクションを演出できるシステムだ。

例えばNゲージなど従来の鉄道模型は、線路を通じて車両に電気や走行指令を送っている。また、電動ポイントの操作も電線を通じて電気を送っている。そのため、従来の鉄道模型ではコントローラーと線路や各ポイントを結ぶ配線が必要だった。しかし、デジQトレインでは配線が一切いらぬのだ。電動ポイントレールの転換もコントローラーから赤外線デジタル無線で操作している。自分の好きなポジション（車両から約2m以内）で、列車の走りを鑑賞しながら運転することができるのだ。

デジQトレインの運転は、机や床の上にレールを敷くだけでも楽しめる。単線のストレートレール、カーブレール、ポイントレールを基本に、複線や高架まで多彩に揃ったレールシステムを活かせば、

好みの線路配置をつくることが可能だ。

また、「ジオラマ」や「レイアウト」として線路まわりの情景をつくり込んでいくことも考えてみたい。山や町並みなど、変化に富んだ情景のなかに置かれたデジQトレインは、格段の魅力を発揮する。とくに情景のなかでの運転を楽しむ「レイアウト」に発展させるとき、配線不要というデジQトレインの特性が大きくものをいう。複雑な配線処理に悩むことなく、自由に線路配置を決められるのは、デジQトレインならではの大きな魅力なのだ。



デジQトレインのシステムを使った「レイアウト」の例。建物や樹木など、Nゲージや建築模型の素材が利用可能だ。

### ●デジQトレイン好評発売中!!

続々とニューアイテムがリリースされているデジQトレイン。手軽に始めるなら「新幹線500系基本運転セット」(5980円)、「新幹線700系ひかりレールスターDXセット」(9800円)などがおすすめ。車両も国鉄・JRの名車が「編成セット」(各2980円)で各種発売中。お求めは全国の有名百貨店、玩具店、模型店などで。

### ●デジQトレインのホームページ

デジQトレインの製品紹介、イベント情報、Q&A

などはホームページ(<http://www.micro-ir.com/train/index.html>)でも紹介されている。ぜひ、チェックしてみよう!

### ●デジQトレインのイベント情報

デジQトレインの魅力を知るには、実際に触れてみるのが一番。コナミでは全国各地でイベントを展開中。8月3日までの「おもちゃみらい博」(於:パシフィコ横浜)、8月22～24日の「国際鉄道模型コンベンション」(於:東京ビッグサイト)など、ぜひ会場に行ってみよう。



▲6月10～12日に開催された「東京おもちゃショー2003」にて新製品も発表。